



いたびつ 板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進



令和5年6月1日(木)発行
校長 栗原 博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

新学期が始まって2か月！(何かに挑む！)

石川県金沢市にある星稜高校。大リーグで活躍した松井秀喜選手の母校です。その野球部の監督室に掲示されているのがこの言葉です。(➡)部室の黒板には、『今年も全国制覇に精進せよ。』と書かれ、帽子のつばに部員全員が『全国制覇』と書いて、練習に、大会に臨んでいるチームです。しかし、そのスタートは心を変えることだと常に彼らは意識して取り組んでいます。

さて、みなさんは新学期のスタートを切り、2ヶ月が経ちました。きっと誰もが『今年こそは勉強を頑張りたい』『今年は学級の仲間と協力して行事で優勝したい』『部活動やクラブで頑張って県大会に行きたい』『希望する高校に合格したい』など、夢や目標をもって過ごしていることでしょう。

ただ、今年の結果で、すべてが決まってしまうわけでもありません。だから大胆に何にでも挑戦できる中学生なのです。勇気を出して、一歩前へ踏み出て行ける時期です。つまり、そうした挑戦を通して、自分自身に誇りがもてる1年になるはず。そうした夢をもつこと、目標をもつこと、その夢や目標を家族や先生、友達に向かって口に出すこと、それがすでに心を変えるチャンスになっているのです。この1年、板櫃中全員が前へ歩み出し、夢に向かって挑戦し、誇りをもてる年にしましょう。それが、“板櫃中プライド”です！

3年生の修学旅行は終わりましたが、これからも行事も多くあります。一つ一つの行事や学校生活を通して、成長していく自分を確かめていきましょう。

誰かがしなければいけないなら・・・

新学期になって2ヶ月が経ったと書きましたが、少し学級や学校の活動を振り返ってみましょう。授業中は、発表も多く、集中していると思います。チャイム席も各学年ほとんど守れているのではないのでしょうか。また、廊下にはゴミが全くないことも板櫃中のすごいところ。学校というのは、時には、廊下のゴミがそのままになっていたり、教室の掲示物が剥がれかかっていたりと・・・理由はありますが、誰も行動を起こさない時があります。誰かがしなければいけないなら『自分がやる』

心が変われば 行動が変わる
行動が変われば 習慣が変わる
習慣が変われば 人格が変わる
人格が変われば 運命が変わる

という前向きな気持ちは大切にしたいものです。さて、・・・

先生の家の近くのコンビニで毎朝見かける風景があります。どこのコンビニも朝、店の前を掃除していますが、このコンビニは違います。隣の駐輪場、その隣のマンションの周り、その裏の駐車場の周り、またその近くの病院の周り、公園の周りとコンビニには直接関係のないところまで毎朝2～3人で掃除をしています。

また、先生はバドミントン部の役員会議でよく筑後地区の大川市に行きましたが、会議場所近くのガソリンスタンドでも同じようなことがありました。車を走らせていると、ガソリンスタンドの店員さんが歩道を掃除していました。

しかし、その近くにはガソリンスタンドはなかったのです。更に車を走らせると、ガソリンスタンドが見えてきました。この店員さんは、かなり離れたところまで歩道をずっと掃除していたのです。

コンビニもガソリンスタンドも自分の店とは全く関係のないところまで掃除をしていたのです。売り上げには直接関係のないことです。

では、どうしてみなさん掃除を毎日しているのでしょうか。

そこには、いろいろな思いや考えがあるでしょう。『自分の町をきれいにしたい』『ひよっとしたら自分の店で買った人がゴミを捨てているかもしれない』・・・

でも、『誰かが掃除をしなければきれいな町にならないなら、自分たちがやろう』そんな純粋な気持ちを感じることができました。みんなの係活動や毎日の生活にもあてはまりませんか。ぜひ、考えてみて下さい。

学校では掃除時間がありますが、家庭生活では、掃除などの機会が少ない人もいると思います。しかし、家での手伝いなどは今以上にできるはず。学校や地域、家庭で掃除をすることだけが素晴らしいことではなく、『自分ができることをすすんでする』ことが大切だと思うのです。

※【ボランティア】とは「掃除」という意味ではなく、『自発的に』という意味です。

<小林教頭先生が、26(金)に2年生の学年集会に参加しました>

今日は初めて2年生の学年集会に参加しました。前に立った瞬間、子どもたちの立派な体育座りと真剣な視線に胸がグッと熱くなり、一言一言に力が入りました！学年主任黒田先生の話振り返った後、「アンガーマネージメント」(怒りのコントロール)について話をしました。嫌な言葉を言われたとき…誤解されたとき…など、具体例を挙げながら、3つのアドバイスをしました。自分の心を知り、コントロールできる力は、大人になっても必ず必要なことであり、周囲の人を助け、自分自身をも支える大切な力なんだよと話しました。板櫃中学校の生徒として、学力体力だけでなく、「人間力」も磨いていってほしいものです。板櫃中プライド♪期待しています！！

★アンガーマネージメントの3つのステップ★

- ①「衝動」のコントロール→6秒間意識をそらし落ち着く(目を閉じる、その場を離れる、深呼吸する)。
- ②「思考」のコントロール→「～すべき」をやめ、許容範囲を広げる。許せるか許せないかを判断する。
- ③「行動」のコントロール→「重要」か「重要ではない」か、「変えられる」か「変えられない」かで対処を決める。